

トピックス topics

第19号

H20.12

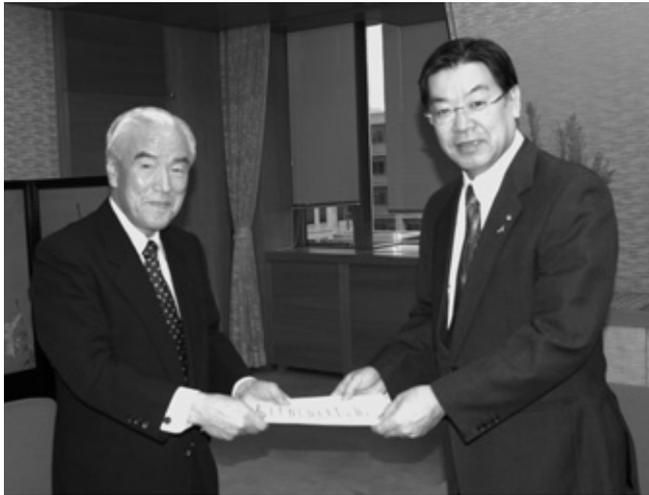
- p1 ◆21年度府農林予算編成で山田知事に要請
— 京都府農業会議・草木会長 —
- p2 ◆自給率向上のための施策要請などを決議
— 全国農業委員会会長代表者集会 —
- p3 ◆全国農業新聞、拡大月間で161部増に
◆「新任女性委員を励ます集い」を開く
- p4 ◆農林水産業功労者表彰
耕作放棄地調査、結果集計へ ほか

京 農 業 会 議

都 だ よ り



発行 京都府農業会議

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
: 075 (441) 3660 e-mail : k_noukai@agr-k.or.jp

山田知事（右）に要望を手渡す草木会長

21年度

府農林予算編成で山田知事に要請

— 京都府農業会議・草木会長 —

京都府農業会議は、京都府の平成21年度予算編成を前に、11月17日、草木慶治会長が山田啓二知事に面会して「平成21年度京都府農林予算編成にかかる施策要望」を手渡し、担い手支援や農地保全に向けた積極的な施策展開を要請しました。

要請の内容は、いずれも農業委員会へのアンケート結果と常任会議での検討を踏まえて取りまとめたものです。草木会長は、「府内の水田を守るために、学校給食での府内産米の使用拡大や有害鳥獣対策を強化してほしい」と強く要望。山田知事は「要望を参考にして、できる限り農林施策を充実させたい」と応えました。知事要請には、京都府から黄瀬農林水産部長のほか、関係課長が同席しました。

要請した8項目（※主な要請内容）

- I 生産資材価格高騰への緊急支援（※国の緊急措置と併せた府独自の緊急対策など）
- II 食の安心・安全の確立（※輸入食品等の検査態勢強化と府内産農産物への理解促進など）
- III 農地保全・遊休農地対策（※集落営農の支援、飼料用・加工用米の支援など）
- IV 農村の活性化対策（※ふるさと再生活動や地域産業づくりの支援など）
- V 都市農業の育成対策（※農業体験農園の開設支援など）
- VI 府内産農産物の消費拡大対策（※ブランド化推進や学校給食への利用拡大など）
- VI 有害鳥獣対策（※個体数調整や森林整備促進など）
- VIII 農委系統組織の支援対策（※農地制度改革に対応するための体制整備など）

自給率向上のための施策要請などを決議 全国農委会長代表者集会へ代表参加

12月3日、東京・九段会館で、全国の農委会長が集い、農委系統組織としての政策提案と要請決議を行う「農業委員会会長代表者集会」が開かれました。京都府からは、農業会議の草木会長をはじめ、7人の農業委員会会長が参加しました。

〓 京田辺市農委会・林会長が 事例発表 〓

集会の第1部「事例報告」では、京田辺市農業委員会の林善嗣会長が「後継者の育成と遊休農地対策の強化をめざして」と題して発表。「茶園バンク」を創設し、新たな担い手への貸借を進めている取り組みや、「広報・アイデア委員会」で女性委員とともに「儲かる農業」に向けた検討を行っていることを報告しました。



事例発表する林善嗣会長

また、第2部「要請・申し合わせ決議」では、「市町村における農政推進の強化に関する政策提案」(草木会長〓全国農業会議所理事が提案理由を説明)を決議したほか、食料自給率向上施策の確立や農地政策の見直しに関する要請等を決議。農業

〓 地元国会議員に要請 〓

集会終了後、京都府代表団は、地元選出の衆参両院与党議員への要請行動を実施し、遊休農地の解消対策や担い手育成対策への財政支援措置の実現に向けた取り組みを要請しました。

委員会交付金の確保や農業委員会活動への十分な予算措置を求めるとともに、全国の農委系統組織が力をあわせて「かけがえのない農地を守り、活かす取り組み」を強化していくことを申し合わせました。

集会に参加した農委会長

(敬称略)

- 溝川 幸雄 (京都市)
- 西小路重幸 (長岡京市)
- 林 善嗣 (京田辺市)
- 但馬 正一 (和束町)
- 小森 清司 (京丹波町)
- 菊田 哲夫 (福知山市)
- 三田彌壽信 (与謝野町)



大会決議案の提案説明を行う草木会長

全国農業新聞

拡大月間で161部増に

全農業委員会が取り組んだ「全国農業新聞」の普及対策は、拡大月間に161部の新規申込を達成。統一選挙で落ち込んだ部数を回復し、新年度へのステップとなる成果をあげました。

この結果、平成20年12月の購読部数は、京都府全体で2,864部となりました。

農業委員や事務局のみなさまには、委員会の独自目標を設定し、熱心に普及拡大に取り組んでいただき、誠にありがとうございました。

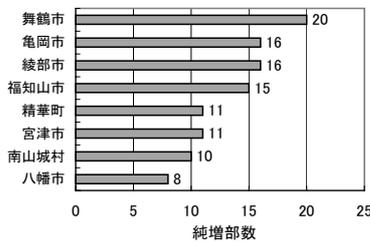
来年度も「京都版」発行を維持

府内の農業委員会活動や農業者の動向を紹介する「京都版」を発行するためには、本来ならば3,500部が必要となりますが、全国農業会議所の特別支援措置により、来年度も京都版発行を維持することができました。

再来年も京都版の発行を継続するためには、来年12月までに3,500部を回復する必要があります。現在の部数との差(636部)は、府内の全農業委員(610人)が1人1部を普及拡大することで概ね達成できます。

京都版の維持に向けて、本年度の後半から「1委員あと1部」の普及拡大をよろしく願っています。

月間中の拡大部数ベスト8



※ 純増部数は、新規購読から中止を引いた拡大部数のこと

きょうと女性農業委員の会「新任女性委員を励ます集い」を開く

府内の女性農業委員が集まってつくる「きょうと女性農業委員の会」(37人・19市町村)が、統一選挙で新しく農業委員になった女性11人を加えて活動をすすめています。

10月10日には、新任の女性委員を激励する「新任女性委員を励ます集い」を開催。お互いに抱負や悩みを出しあい、経験を交流する中で、「女性どうし、一緒に勉強して、頑張っていきましょう」と、盛り上がる集いになりました。

農業者年金の特別研修に参加

また、11月13～14日には、農業者年金基金と府県農業会議が共催する「近畿ブロック女性農業委員特別研修会」(和歌山市)に京都府から9名の女性委員が参加。農家女性にとっての農業者年金制度のメリットや加入推進の方法について熱心に学びました。

同会会長代行の四方克代委員(綾部市)は、「女性一人ひとりの力は小さいけれど、みんなと一緒にやれば大きな取り組みになります」と、同会の活動に意欲を見せています。

▲新役員体制▼

会長代行・四方克代(綾部市)
副会長・藤井予旨子(長岡京市)
理事・中西喜代子(城陽市)、
奥西和子(京田辺市)、竹内きみ代(和束町)、吉田陽子(南丹市)、和田房子(京丹後市)



前列の右から4人目が草木農業会議会長。その左が四方会長代行。

農林水産業功労者表彰

平成20年度の京都府農林水産業功労者表彰において、次の8名の農業委員(現職・前職)が表彰されました。

- 〔団体役員(農業委員会会長)〕
西川 隆雄さん(八幡市)
- 〔農林水産業者(農業委員)〕
岡田 治さん(向日市)
- 南本 徳弘さん(井手町)
- 村井 幹良さん(和束町)
- 平井 賢次さん(亀岡市)
- 四方 克代さん(綾部市)
- 尾関 孝典さん(宮津市)
- 安井 利幸さん(京丹後市)

耕作放棄地調査、結果集計へ

8～12月にかけて、府内の全市町村で、農業委員会が中心となって「耕作放棄地全体調査」が実施され、現在、市町村別に集計作業と解消計画の策定に向けた検討がスタートしています。

市町村による耕作放棄地解消計画の策定にあたっては、農業委員会が積極的に参画し、農家の意向を踏まえた「地域の実態に即した解消計画」となるように努めていく必要があります。

今後、農業委員には、担当地区で「耕作放棄地の解消と農地の有効利用」に向けた話し合いをリードすることが期待されています。

農業会議としては、当面、耕作放棄地解消事例集を作成するほか、府内5ブロックで「農業委員研修・交流会」を開催し、農業委員会と力をあわせて優れた活動事例を府内全域に広げていく取り組みをすすめていきます。

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第323回常任会議(9月24日)

▼協議

①平成21年度京都府農林施策への提案に向けた検討について

第324回常任会議(10月22日)

▼協議

①平成21年度京都府農林施策への提案について

第325回常任会議(11月26日)

▼報告

①放牧による耕作放棄地対策について

②農地・水・環境保全向上対策の取組状況について

【農地法諮問案件の審議件数

第4条19件 8,371.79㎡ (9～11月)】

第5条67件 41,632.08㎡
計 90件 50,003.87㎡

出版案内

【農業会議の出版物】

『農業会議だより』

▼No.766

平成21年度農業委員会関係予算(概算要求)特集号

▼No.766

農地制度改革に係る資料集③

『あぐり・るねっさんず』

▼No.77(2008年秋号)

【おすすめ図書】

『担い手の老後に備える

農業者年金制度と加入推進』

●農業委員会の加入推進に役立つ活動テキストです。



コード20-26 500円

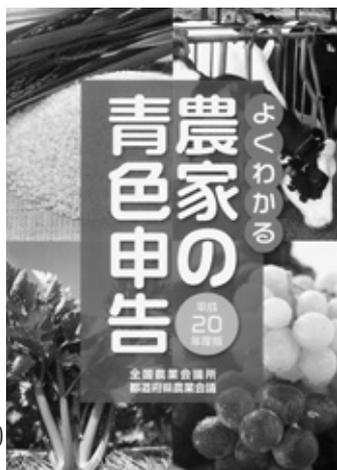
『なくそう/農地の無断転用』

●一般農家向けに農地転用の手続きや許可基準を紹介。農家相談に使えます。



コード20-20 45円

●『よくわかる農家の青色申告』
青色申告の手続きから確定申告まで、農業経営者に便利な一冊です。



コード20-23 700円

※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

今後のスケジュール(予定)

- ▼第326回常任会議(12/24)
- ▼第327回常任会議(1/28)
- ▼第328回常任会議(2/25)